

II

世界史

問題は、次のページから始まり、I、II、III、IVの4題ある。

解答は、問題ごとに与えられた指示にしたがって、それぞれ答案紙の所定の欄に書きなさい。

問題文を次のとおり訂正します。

・該当箇所：問題I (P.30)

【誤】「礼・儀」 → 【正】「礼・義」

・該当箇所：問題I 問2 (P.32)

【誤】「礼・儀」 → 【正】「礼・義」

出典表記を次のとおり訂正します。

・該当箇所：問題I (P.32)

【誤】壇上寛 → 【正】檀上寛

世界史 問題 I

次の文章をよく読み、下記の問題に答えなさい。

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

この部分につきましては、 著作権の都合により公開いたしません。

(壇上寛『天下と天朝の中国史』岩波新書 2016年、一部改)

- 問 1 問題文の前半で説明されている華と夷を区別する観点のうち、「①民族の違い」「②地域の違い」とは具体的はどういうことか。「③文化の違い(礼・義の有無)」という書き方を参考にして、㊦・㊧に入れるべき説明を簡潔に述べなさい。
- 問 2 下線部㊨について、このような「礼・儀」を重視する思想を何と呼ぶか。また、この思想が中国王朝の正統思想とされたのはいつのことか。王朝名で答えなさい。
- 問 3 下線部㊩について、このような「華」と「夷」の区別は排他的な考え方に見えるにもかかわらず「膨張主義的な性格」を持つのはなぜか、説明しなさい。
- 問 4 問題文中の檄(人々に決起をうながす文書)を発した人物㊪の名と、彼がやがて開く王朝である㊫の名を答えなさい。
- 問 5 ㊫の王朝の名、下線部㊬で「有徳の君主」と呼ばれているその王朝の君主の名を答えなさい。
- 問 6 下線部㊭で述べられているような行為を、中国古代の王権思想では何と呼ぶか。またこれと逆に、武力によって政権を奪取すること(㊮)を何と呼ぶか。

問 7 この檄の後に派遣された軍勢が本文でも「北伐軍」と呼ばれているように、㊦の王朝から㊧の王朝への交替は事実上、武力による奪取であることは明らかであるにもかかわらず、なぜ檄文の中でこのような解釈を示すことが必要であったのか、自分なりに考察したことを書きなさい。

世界史 問題Ⅱ

次のA～Eの文章は、ヨーロッパやアフリカの近代史にかかわる史料の抜粋である。よく読んで下記の問題に答えなさい。

A

B

**この部分につきましては、
著作権の都合により
公開いたしません。**

C

D

E

(歴史学研究会編『世界史史料』第6巻所収、一部改)

問 1 A～Eの史料は、それぞれ次の1～5のどれに当たるか、番号で答えなさい。

- 1 フランス革命百周年記念行事を伝える『フィガロ』紙の記事
- 2 スエズ運河の開通を伝える『タイムズ』紙の記事
- 3 ニコライ2世への請願書
- 4 アレクサンドル2世による宣言
- 5 ジョゼフ・チェンバレンの電報

問 2 A～Eの史料を年代順に並べたとき、次の(①)～(④)に入る史料は何か、答えなさい。

(①)⇒D⇒(②)⇒(③)⇒(④)

問 3 史料Aに関して、この史料のすぐ後に南アフリカで始まった戦争の結果について、簡潔に述べなさい。

問 4 史料Bの下線部に関して、国葬されたこの国民的作家の代表作を一つ挙げなさい。

問 5 史料Cの下線部の人物はナロードニキの一派によって爆殺されるが、ナロードニキとは何か、簡潔に説明しなさい。

問 6 史料Dの下線部の人物の名を答えなさい。

問 7 史料Eの下線部の人々への発砲事件を何と呼ぶか、答えなさい。

世界史 問題Ⅲ

次のAからCは、1972年9月に日本と中華人民共和国とのあいだで日中共同声明が調印された前後に、三つの異なる立場から述べられた文章の一部を日本語に訳したものである。よく読んで下記の問に答えなさい。

A

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

(『日中関係基本資料集』霞山会、2008年所収、一部改)

(注1) 中華人民共和国政府が中国の唯一の合法政府である、台湾は中華人民共和国の領土の不可分の一部である、(1952年に日本と台湾の中華民国政府とのあいだで結ばれた)日華平和条約は不法無効であり廃棄されるべきである、というもの。

B

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

(同前所収, 一部改)

(注2) 中華人民共和国政府を指す。

(注3) 1952年に日本と中華民国とのあいだで締結された日華平和条約を指す。

(注4) 1947年に南京で公布・施行された中華民国憲法を指す。

C

**この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。**

(傅正主編『雷震全集』27, 桂冠図書公司, 1990年所収, 一部改)

(注5) 中華民国政府が大陸で施行された憲法に基づく正統性を有することを示す概念。

(注6) みな同じ気持ちで, その理由も同じ, という意味の成語。

問1 Aは [㉗] が訪中した日本の田中角栄首相を歓迎する宴会で述べたあいさつである。 [㉗] は, 1949年10月に北京で中華人民共和国の成立が宣言されて以来, 終生, 首相として, 最高指導者であった [㉘] を支え, 日中の国交正常化においても中心的役割を果たした。 [] にあてはまる語句を記入しなさい。

問2 下線部①に関して, 中国の正史に見える日本に関する最初のまとまった記録は, 西晋の陳寿が編纂した『 [㉙] 』の「東夷伝」に見えるものである。この記録は一般に「 [㉚] 」と称される。 [] にあてはまる語句を記入しなさい。

問3 下線部②に関して, この年に日清戦争がおり, その結果, 台湾が清国から日本に割譲され, その統治は半世紀に及んだ。この間, 日本は台湾に [㉛] 府を設置し, インフラの整備や産業の育成を進めたが, 日本内地とは異なる統治を行った。日中戦争が始まると, いわゆる [㉜] 政策を進め, 台湾の言語や慣習などを禁じ, 同化を強いた。 [] にあてはまる語句を記入しなさい。

問 4 下線部③に関して、当時、中華人民共和国は、国境等をめぐって、と対立し、国内では、プロレタリアが発動され、混乱していた。一方、アメリカは、ベトナム戦争が泥沼化するなか、中華人民共和国との新たな関係を模索し、1972年2月、大統領が電撃的に同国を訪問し、世界に衝撃を与えた。にあてはまる語句を記入しなさい。

問 5 下線部④に関して、日本がこの原則を「承認」または「理解」することで日中共同声明が調印され、日本と中華人民共和国とのあいだで国交が正常化された。この声明をふまえ、1978年には条約も締結された。こうした対外関係の変化を背景に、中華人民共和国は78年からいわゆる政策を打ち出し、経済を推し進めることによって、経済を大きく発展させた。にあてはまる語句を記入しなさい。

問 6 Bは台湾の中華民国政府外交部が発表した対日断交声明である。中華民国は1911年におこったの結果、を臨時大総統として建国された。28年には、北伐を完了して全国を統一したが主席となり、南京で中国国民党による全国政権が組織された。しかし、21年に成立した中国共産党とのあいだで合作と内戦を繰り返し、日本の降伏後、再び内戦が勃発すると、それまで農村を中心に勢力を拡大させた共産党が戦いを有利に進め、49年12月、はついに台湾に逃れ、ここで中華民国政府を維持した。にあてはまる語句を記入しなさい。

問 7 下線部⑤に関して、1951年、日本はこのいわゆる条約によって、台湾等を正式に「放棄」し、連合国と講和した。翌年には、この条約に基づき、中華民国とのあいだで日華平和条約を締結した。当時、戦争下にあつて、講和会議に招かれなかった中華人民共和国政府は、台湾の返還先が示されていないこと等から、この条約が不法無効であると反対している。にあてはまる語句を記入しなさい。

問 8 Cは雷震(1897-1979年)が、1972年に [㉔] をはじめとする政府当局者に提出した「救亡図存献議」という改革案である。雷震は名古屋大学の前身・第八高等学校および京都帝国大学法学部を卒業し、戦後の台湾で『自由中国』を発刊するなど、早期における代表的な民主運動家であった。台湾では日本による統治が終了した後、中国大陆から台湾に渡ってきた外省人と、もともとの台湾の住民であった本省人とのあいだで対立が深まり、1947年に [㉕] 事件が発生した。その後38年間にわたって戒厳令が敷かれ、雷震も60年から10年間にわたって投獄された。出獄後まもなく、71年10月に中華民国政府が [㉖] における代表権を失うと、再び声を上げ、この改革案を提出した。 [] にあてはまる語句を記入しなさい。

問 9 下線部⑥に関して、こののち台湾では1987年に戒厳令が解除され、88年から総統になった [㉗] が民主化を推進し、2000年の総統選挙では [㉘] 党の陳水扁が当選し、はじめて政権交代が実現した。 [] にあてはまる語句を記入しなさい。

問10 波線部に関して、ここで雷震がいう「現実」と「幻想」とは、具体的にどのようなことを指していると考えられるか。A、Bそれぞれの本文と注の関連する箇所を適宜用いて説明しなさい。

世界史 問題IV

第一次世界大戦ののち、戦争による混乱を取捨する新しい国際秩序が生み出された。国際協調と軍縮を柱とするこの秩序がどう展開したかを、以下の語句をすべて用いて、450字以内で述べなさい。(語句の順序は自由に変えてよい)

国際連盟

ファシズム

不戦条約

ロカルノ条約

ロンドン会議

ワシントン会議